

特色ある学校づくり推進事業通信

豊松小学校

R5.8.26(土)

第3号

文責 鈴木尚子

「特色ある学校づくり推進事業」とは、本校が特色ある教育を行っていくために、市から予算をいただいで活動している事業です。7月までの取組についてお知らせします。

畑に野菜の苗を植えました



ゴールデンウィーク明けから、昇降口前にある畑に野菜の種や苗を植えました。指導していただいたのは、校内整備員の河合敏夫さんです。敏夫さんは、子どもたちと一緒に苗の植え方を教えてくださったり、育て方や気を付けること等を丁寧に教えてくださったりしています。野菜の種類は、各学年の理科や生活科の学習で学ぶものや育てたいと希望したものです。

夏休み前まで子どもたちは水やりや草取り、観察を頑張っていました。

頑張って育てた甲斐があり、トマトやキュウリ、ピーマン、オクラ、カボチャ、ツルレイシ等がたくさん収穫できました。



ササユリの保護活動

毎年6年生は総合的な学習の時間に、ササユリの保護活動に取り組んでいます。ササユリは日本だけに生息するユリの花で、葉が竹箨に似ていることから箨ユリと呼ばれています。生育が遅く種子から開花するまでに7年から8年かかるといわれ、手入れをしていないところでは自然に見ることが困難な花です。

本校ではササユリの保護活動に継続的に取り組んでいます。校内地図を手にササユリが咲いている場所を記録し、咲いている場所にアルミのポールを立てていきます。今回見たササユリの花が咲く姿を次に見られるのは、今の6年生が20歳になった頃でしょう。このように先輩たちから受け継がれているササユリの保護活動が続けることは、地域の自然を守り、地域を愛する活動の一つにもつながっています。



校内に咲いているササユリの数を調べました。ササユリの数が年々減っていることを知り、どうしたらササユリを増やすことができるのかを、調べたり話し合ったりしてまとめています。豊松にササユリの里を作ることができたらいいなと思っています。(6年児童)